

本市を取り巻く状況

この資料は、本市を取り巻く状況を整理したものです。

第1回協議会に向け、地域の課題を考える参考にしてください。

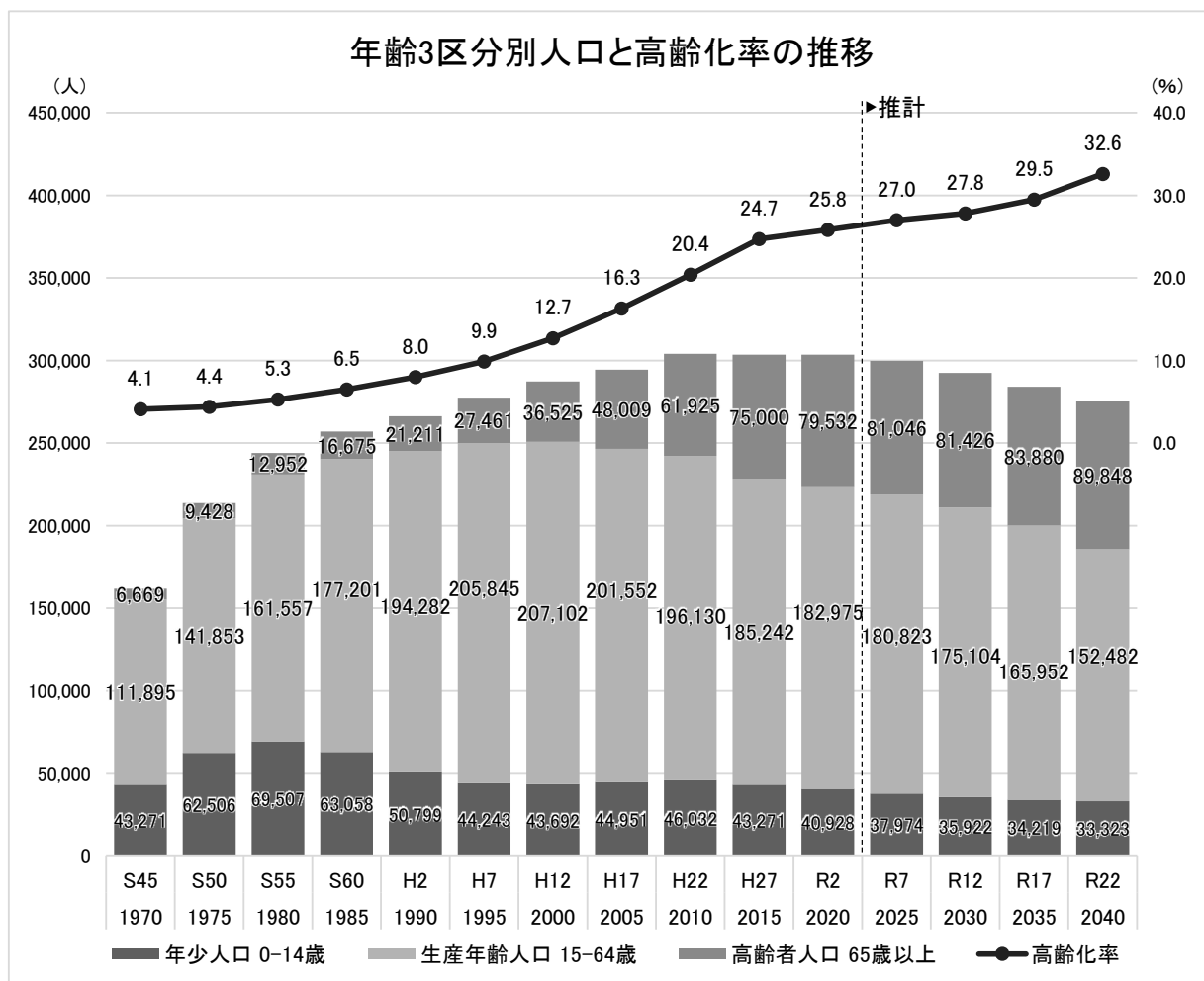
【目 次】

No.	項 目	No.	項 目
1	人口構成	11	生活保護受給者数
2	ひとり暮らしの高齢者世帯数	12	自殺者数
3	災害時要援護者数	13	健康状態不明者数
4	要介護認定者数	14	町内会加入世帯数の推移
5	認知症高齢者数	15	子ども会会員数
6	障がい者手帳所持者数	16	子育てサロン・高齢者サロン数
7	安否確認通報件数	17	市民活動団体数
8	孤立死者数	18	移動支援の必要性
9	虐待の認知件数	19	刑法犯認知件数
10	不登校者数	20	犯罪検挙人数及び再犯率

1_人口構成

		年少人口	生産年齢人口	高齢者人口	高齢化率	総人口
		0-14歳	15-64歳	65歳以上	%	
1970	S45	43,271	111,895	6,669	4.1	161,835
1975	S50	62,506	141,853	9,428	4.4	213,787
1980	S55	69,507	161,557	12,952	5.3	244,016
1985	S60	63,058	177,201	16,675	6.5	256,934
1990	H2	50,799	194,282	21,211	8.0	266,292
1995	H7	44,243	205,845	27,461	9.9	277,549
2000	H12	43,692	207,102	36,525	12.7	287,319
2005	H17	44,951	201,552	48,009	16.3	294,512
2010	H22	46,032	196,130	61,925	20.4	304,087
2015	H27	43,271	185,242	75,000	24.7	303,513
2020	R2	40,928	182,975	79,532	25.8	308,681
2025	R7	37,974	180,823	81,046	27.0	299,843
2030	R12	35,922	175,104	81,426	27.8	292,452
2035	R17	34,219	165,952	83,880	29.5	284,051
2040	R22	33,323	152,482	89,848	32.6	275,653

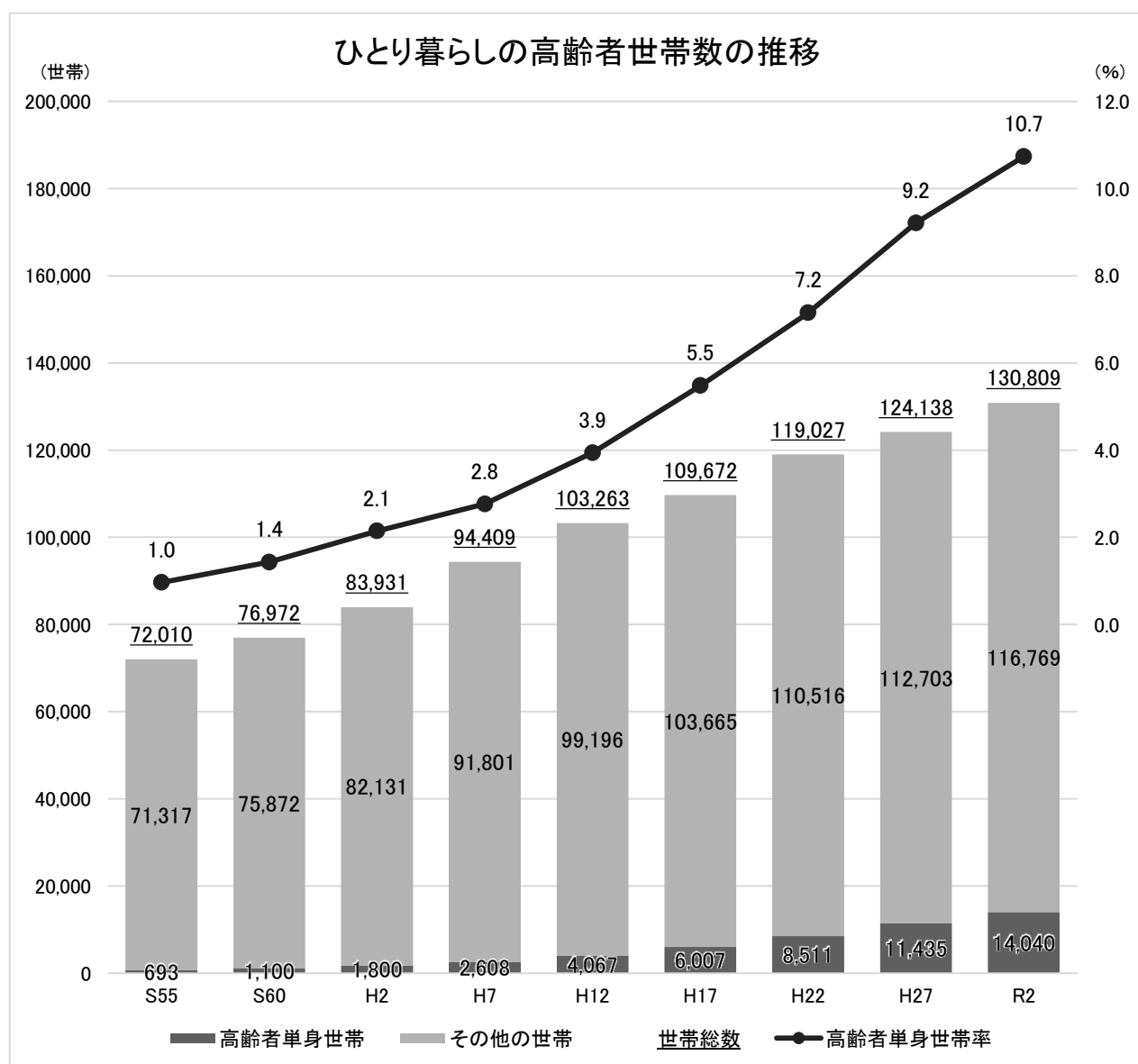
※2025年以降は、推計値。



人口は、平成22年をピークにそこから年々減少を続けています。
 年齢別人口を比較すると、年少人口及び生産年齢人口は減少傾向にありますが、高齢者人口は増加傾向にあり、高齢化率も上昇を続けています。

2_ひとり暮らしの高齢者世帯数

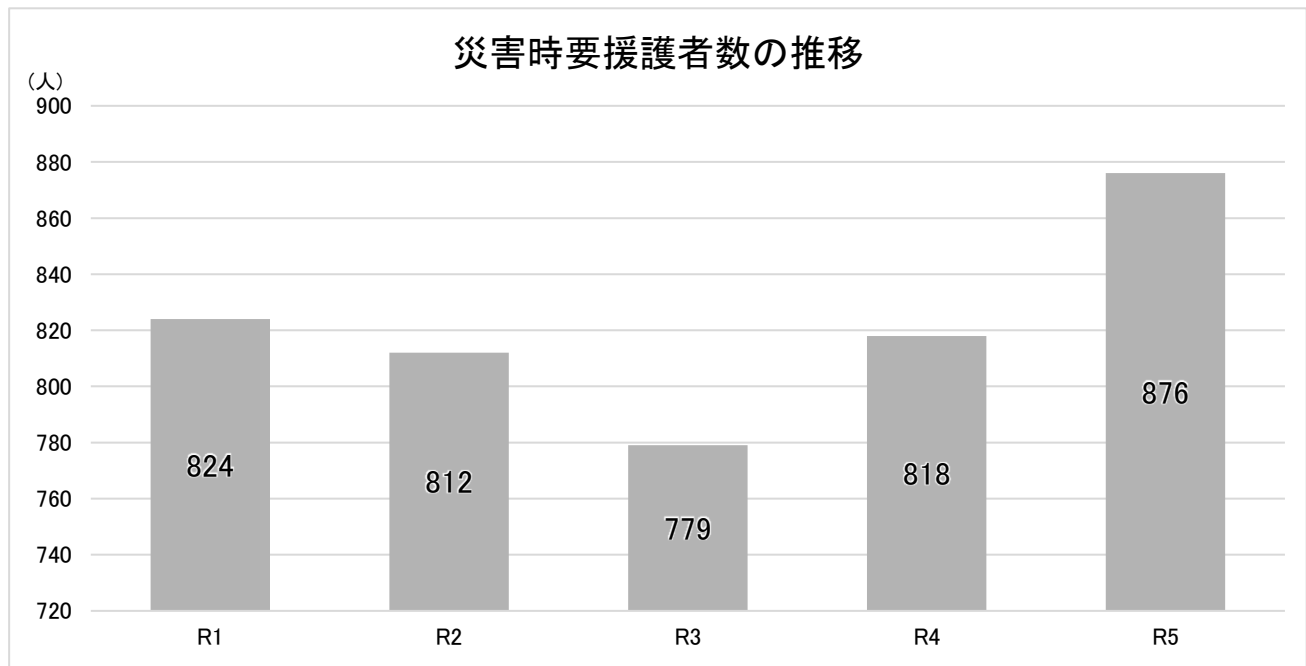
		世帯数			割合	
		高齢者単身世帯	その他の世帯	世帯総数	高齢者単身世帯率	その他の世帯
1980	S55	693	71,317	72,010	1.0	99.0
1985	S60	1,100	75,872	76,972	1.4	98.6
1990	H2	1,800	82,131	83,931	2.1	97.9
1995	H7	2,608	91,801	94,409	2.8	97.2
2000	H12	4,067	99,196	103,263	3.9	96.1
2005	H17	6,007	103,665	109,672	5.5	94.5
2010	H22	8,511	110,516	119,027	7.2	92.8
2015	H27	11,435	112,703	124,138	9.2	90.8
2020	R2	14,040	116,769	130,809	10.7	89.3



高齢者単身世帯は年々増加傾向にあり、平成27年から令和2年の5年間で、約2500世帯増加しています。世帯総数も増加傾向にありますが、高齢者単身世帯の増加率が上回っており、世帯総数のうち、高齢者単身世帯の割合が高まっています。

3_災害時要援護者数

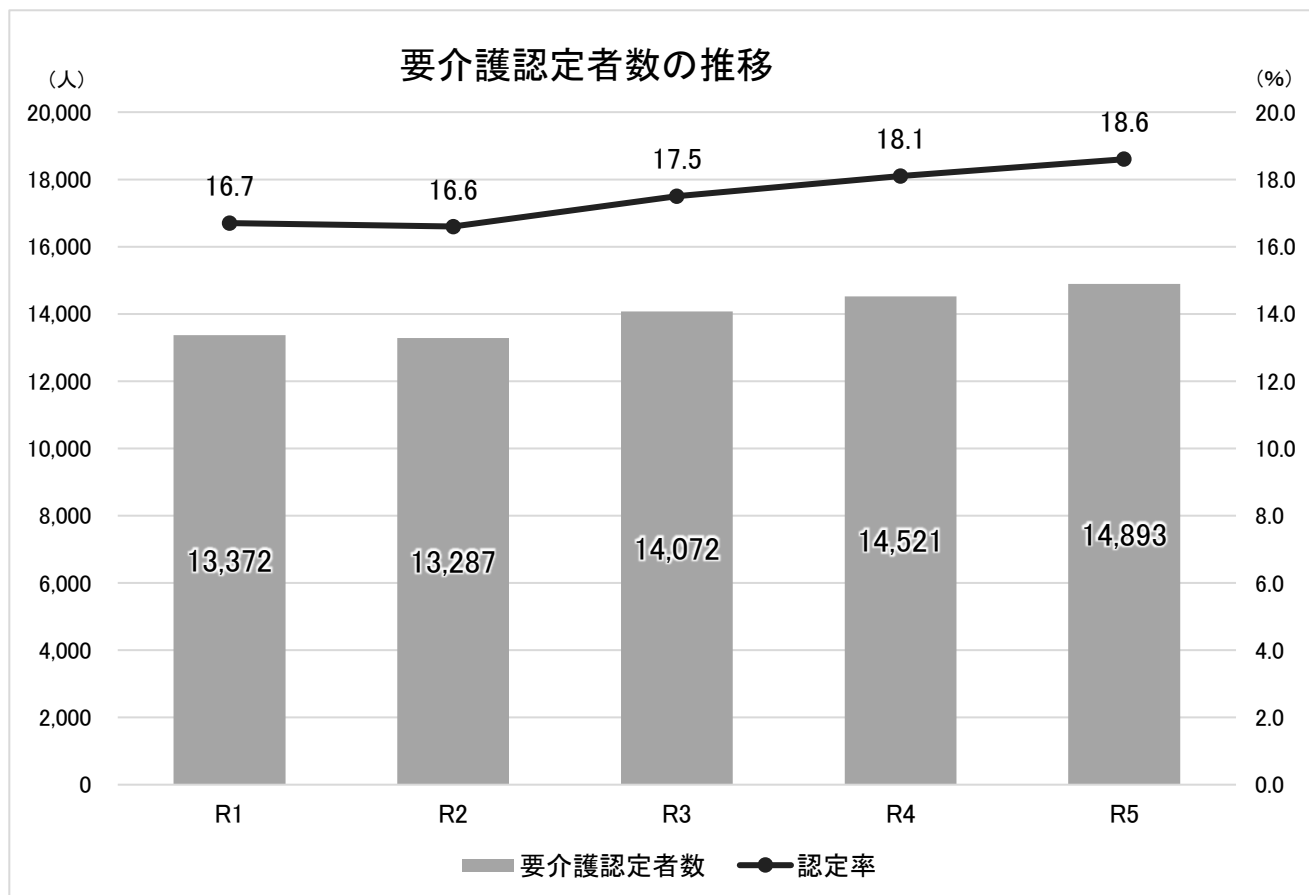
	2019	2020	2021	2022	2023
	R1	R2	R3	R4	R5
登録者	824	812	779	818	876



災害時要援護者数は、令和3年度に落ち込みましたが、令和4年度からは増加傾向にあり、令和5年度は、前年度から58人増加しています。

4 要介護認定者数

	2019	2020	2021	2022	2023
	R1	R2	R3	R4	R5
要介護認定者数 (各年10/1現在)	13,372	13,287	14,072	14,521	14,893
認定率	16.7	16.6	17.5	18.1	18.6



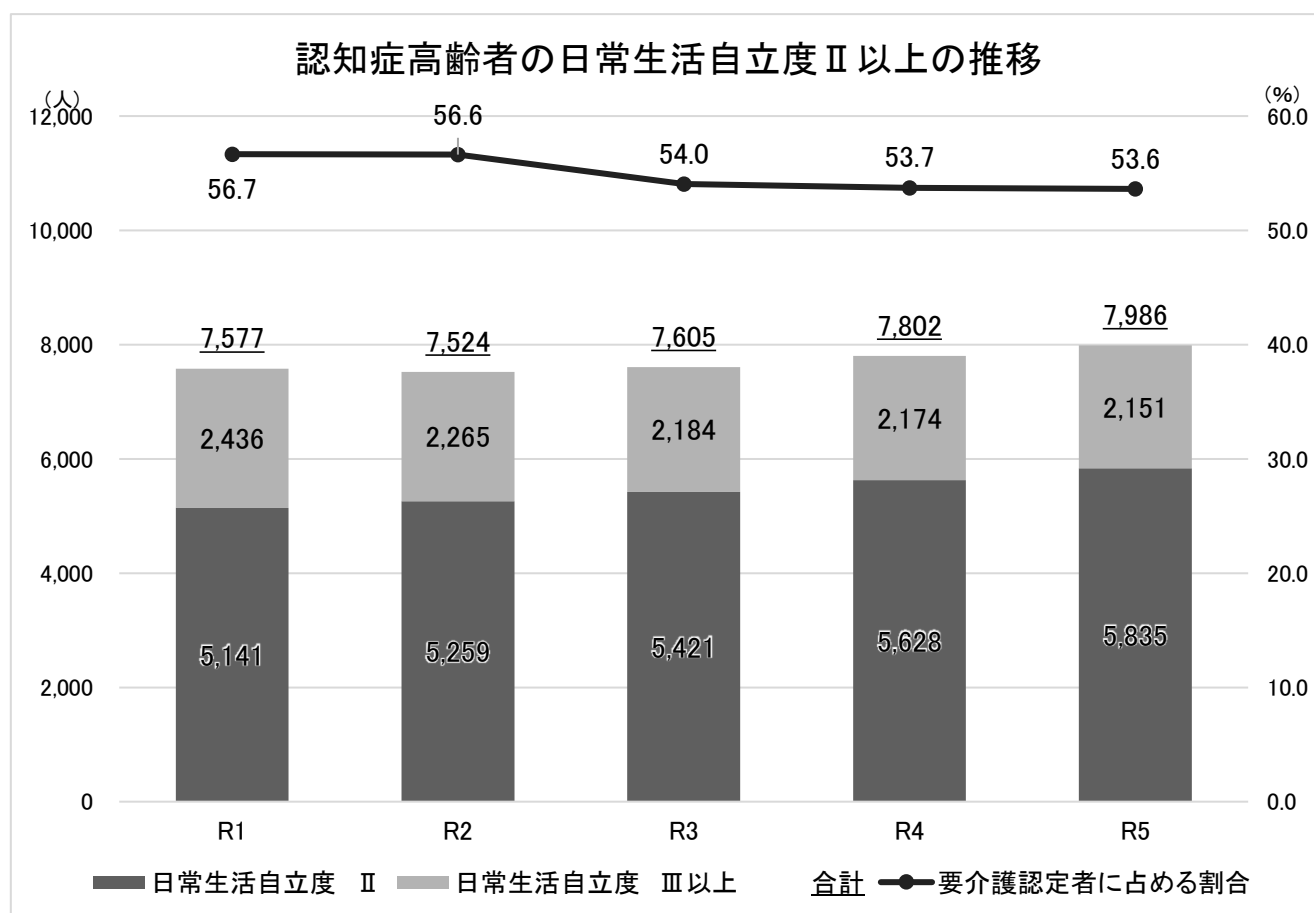
要介護認定者数は、令和2年以降増加を続けており、令和5年までに約1千人増加しています。
認定率も認定者と同様に増加傾向にあり、令和2年から令和5年までに2ポイント上昇しています。

5 認知症高齢者数

	2019	2020	2021	2022	2023
	R1	R2	R3	R4	R5
日常生活自立度 Ⅱ	5,141	5,259	5,421	5,628	5,835
日常生活自立度 Ⅲ以上	2,436	2,265	2,184	2,174	2,151
合計	7,577	7,524	7,605	7,802	7,986
要介護認定者数	13,372	13,287	14,072	14,521	14,893
要介護認定者に占める割合	56.7	56.6	54.0	53.7	53.6

※ランクⅡ：日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

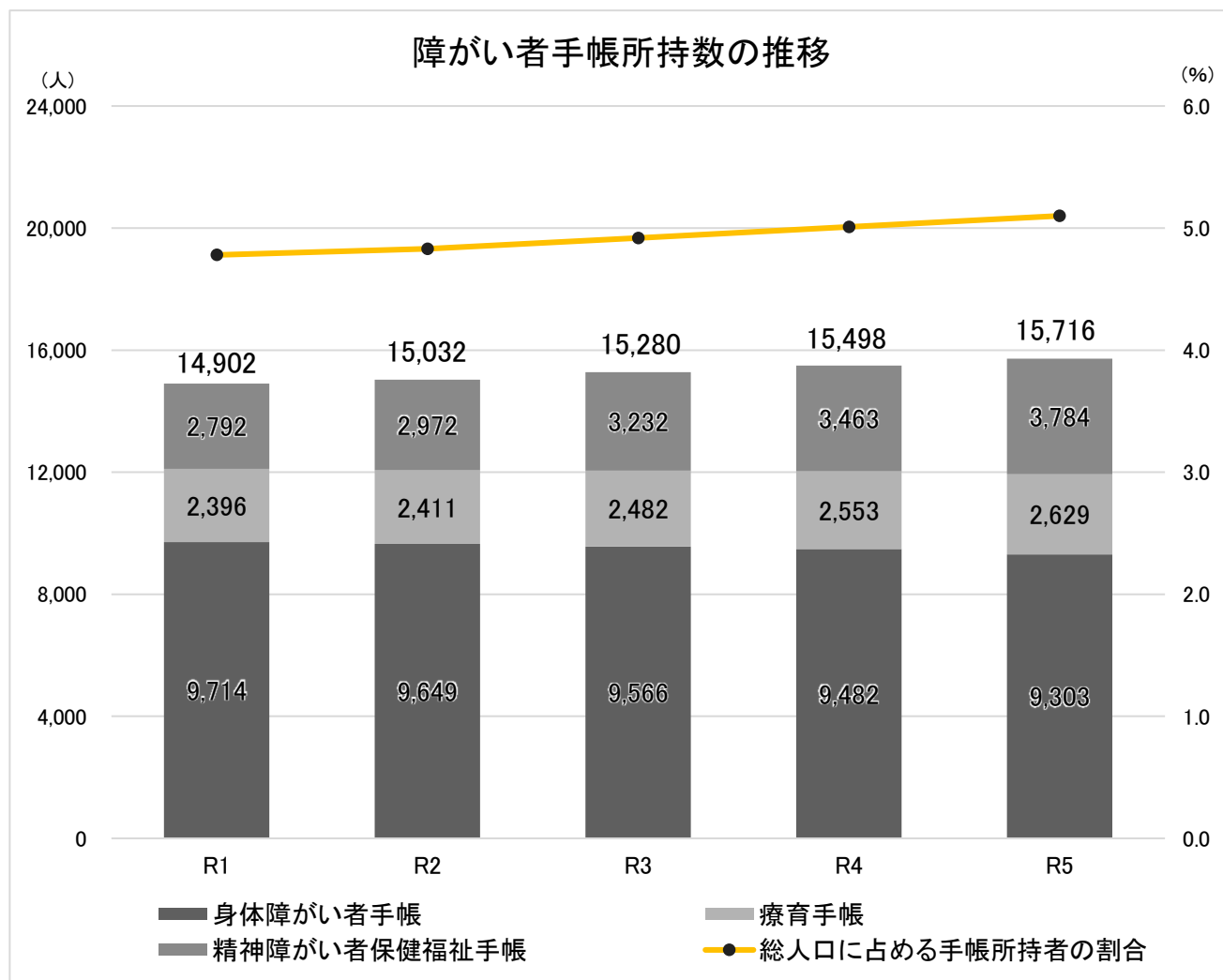
※ランクⅢ：日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。



認知症高齢者数は、令和2年以降年々増加傾向にあります。要介護認定者に占める割合は減少傾向にあります。日常生活自立度別で比較すると、ランクⅡは増加していますが、ランクⅢは減少しています。

6 障がい者手帳所持者数

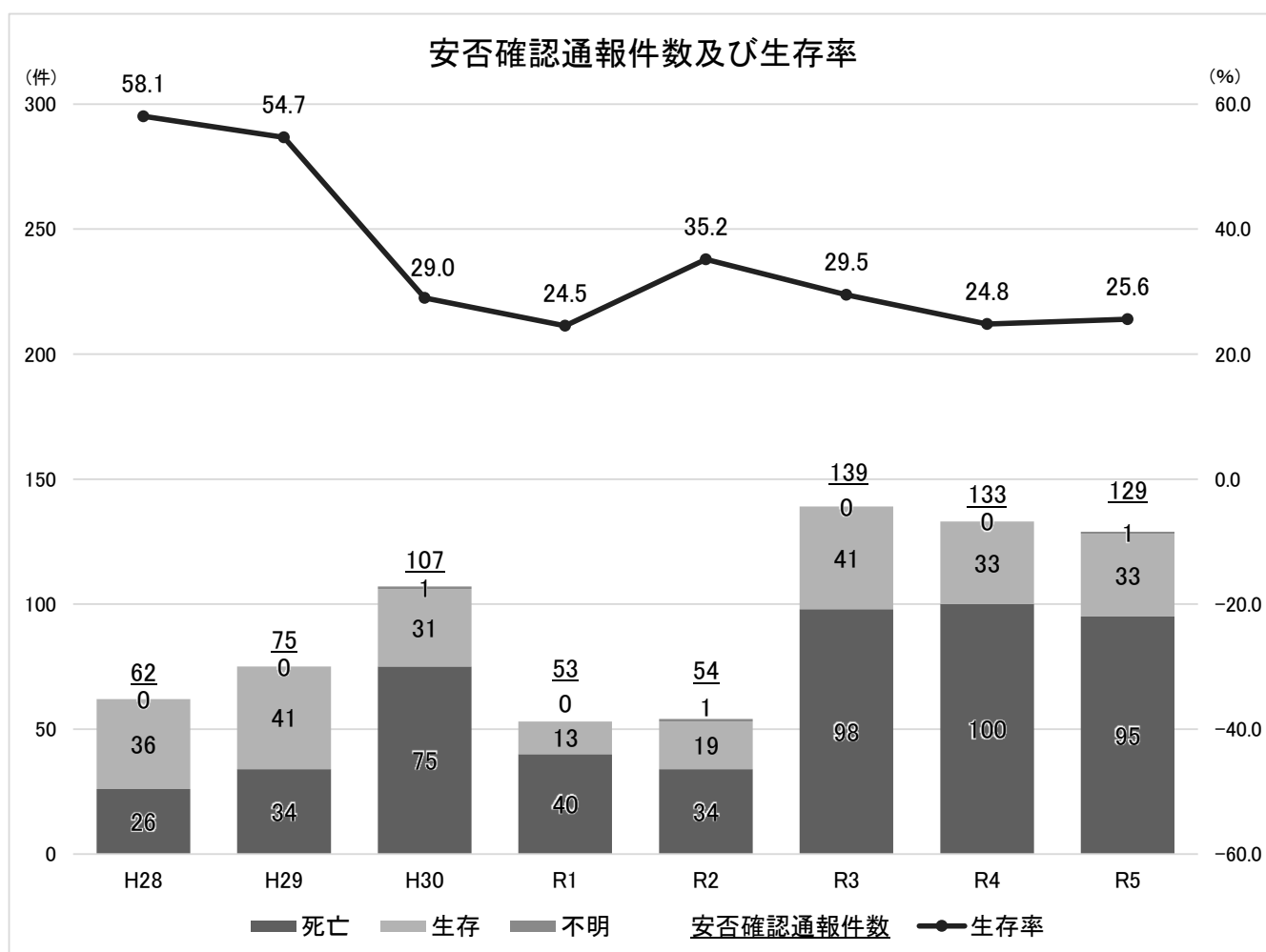
	2019	2020	2021	2022	2023
	R1	R2	R3	R4	R5
身体障がい者手帳	9,714	9,649	9,566	9,482	9,303
療育手帳	2,396	2,411	2,482	2,553	2,629
精神障がい者保健福祉手帳	2,792	2,972	3,232	3,463	3,784
総計	14,902	15,032	15,280	15,498	15,716
総人口に占める手帳所持者の割合	4.8	4.8	4.9	5.0	5.1



全ての種別を含めた全体の障がい者手帳所持数は年々増加傾向にあり、総人口に占める手帳所持者の割合も横ばいまたは、増加傾向にあります。種別別に比較すると、身体障がい者手帳所持数は減少傾向にありますが、療育手帳所持数及び精神障がい者保健福祉手帳は増加傾向を続けています。

7_安否確認通報件数

					安否確認通報件数	生存率
		死亡	生存	不明		
2016	H28	26	36	0	62	58.1
2017	H29	34	41	0	75	54.7
2018	H30	75	31	1	107	29.0
2019	R1	40	13	0	53	24.5
2020	R2	34	19	1	54	35.2
2021	R3	98	41	0	139	29.5
2022	R4	100	33	0	133	24.8
2023	R5	95	33	1	129	25.6



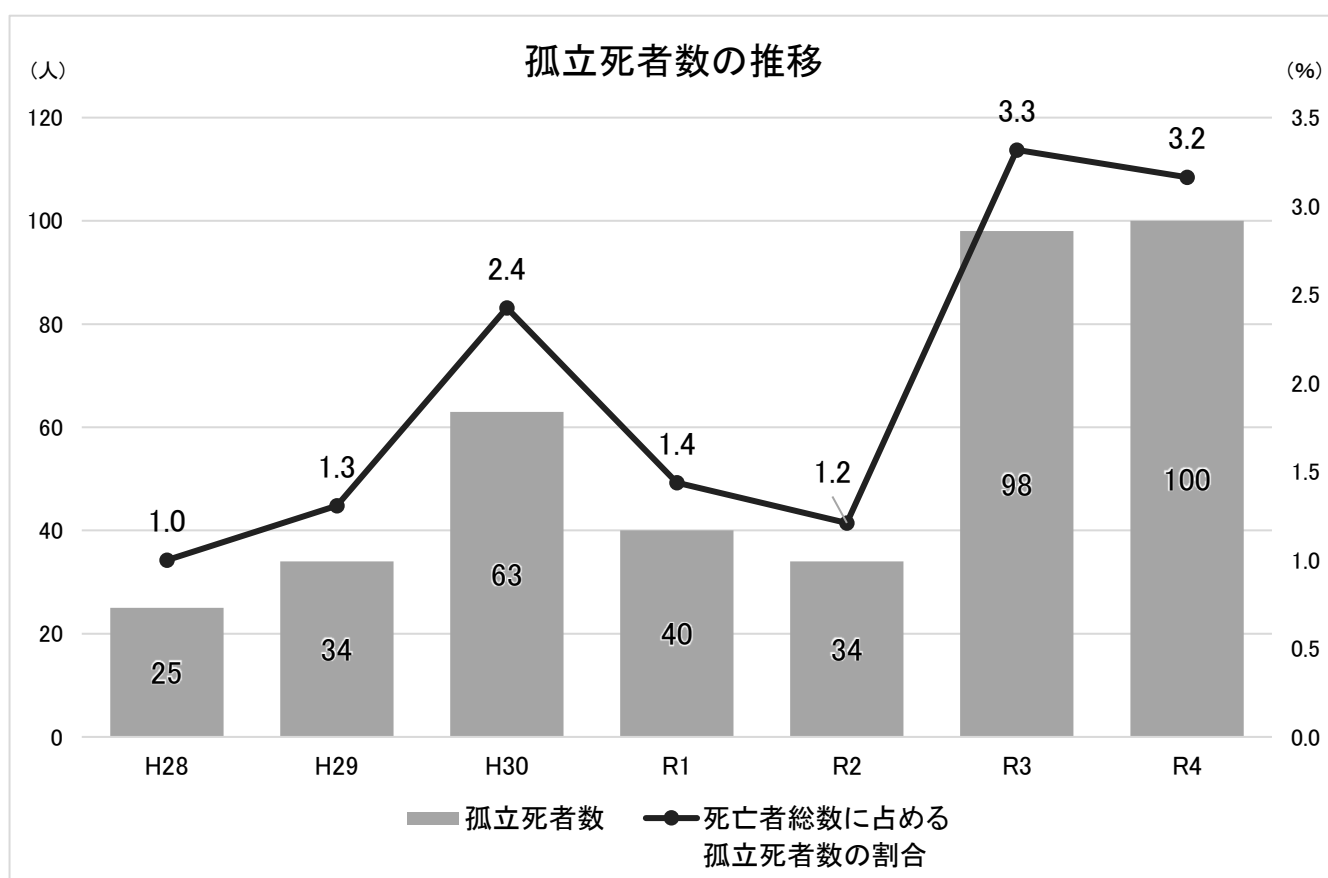
安否確認通報件数は、令和元年及び令和2年は大幅に落ち込みましたが、令和3年以降は件数が増え、ほぼ横ばいに推移しています。通報のうち生存率をみると、年々ばらつきはありますが、平成30年以降は、相対して30%前後で推移しています。

8 孤立死者数

		孤立死者数	死亡者総数	死亡者総数に占める 孤立死者数の割合
2016	H28	25	2,503	1.0
2017	H29	34	2,603	1.3
2018	H30	63	2,599	2.4
2019	R1	40	2,782	1.4
2020	R2	34	2,812	1.2
2021	R3	98	2,954	3.3
2022	R4	100	3,162	3.2

※孤立死とは、亡くなったことに親族や近隣の人々が気づかず相当日数を経てから発見されることを指す。

※死亡数の集計は暦年単位。

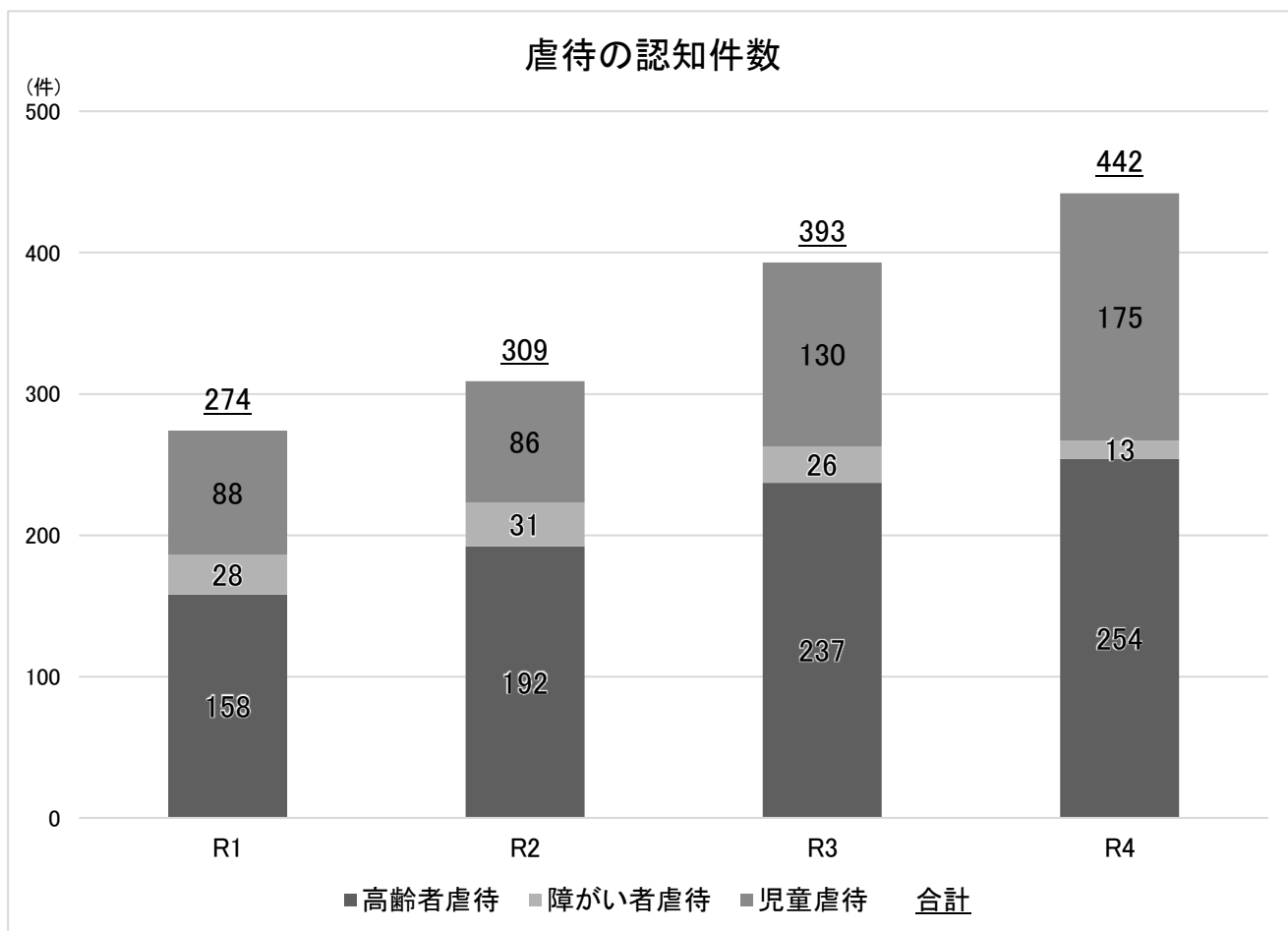


孤立死者数は、令和元年及び令和2年は減少しましたが、令和3年以降は大幅に件数を増やしています。死亡者総数に占める孤立死者数の割合も令和3年以降、令和2年と比較して2倍以上上昇しています。

9 虐待の認知件数

	2019	2020	2021	2022
	R1	R2	R3	R4
高齢者虐待	158	192	237	254
障がい者虐待	28	31	26	13
児童虐待	88	86	130	175
合計	274	309	393	442

※児童虐待はR3から集計方法が世帯から個人へ変更

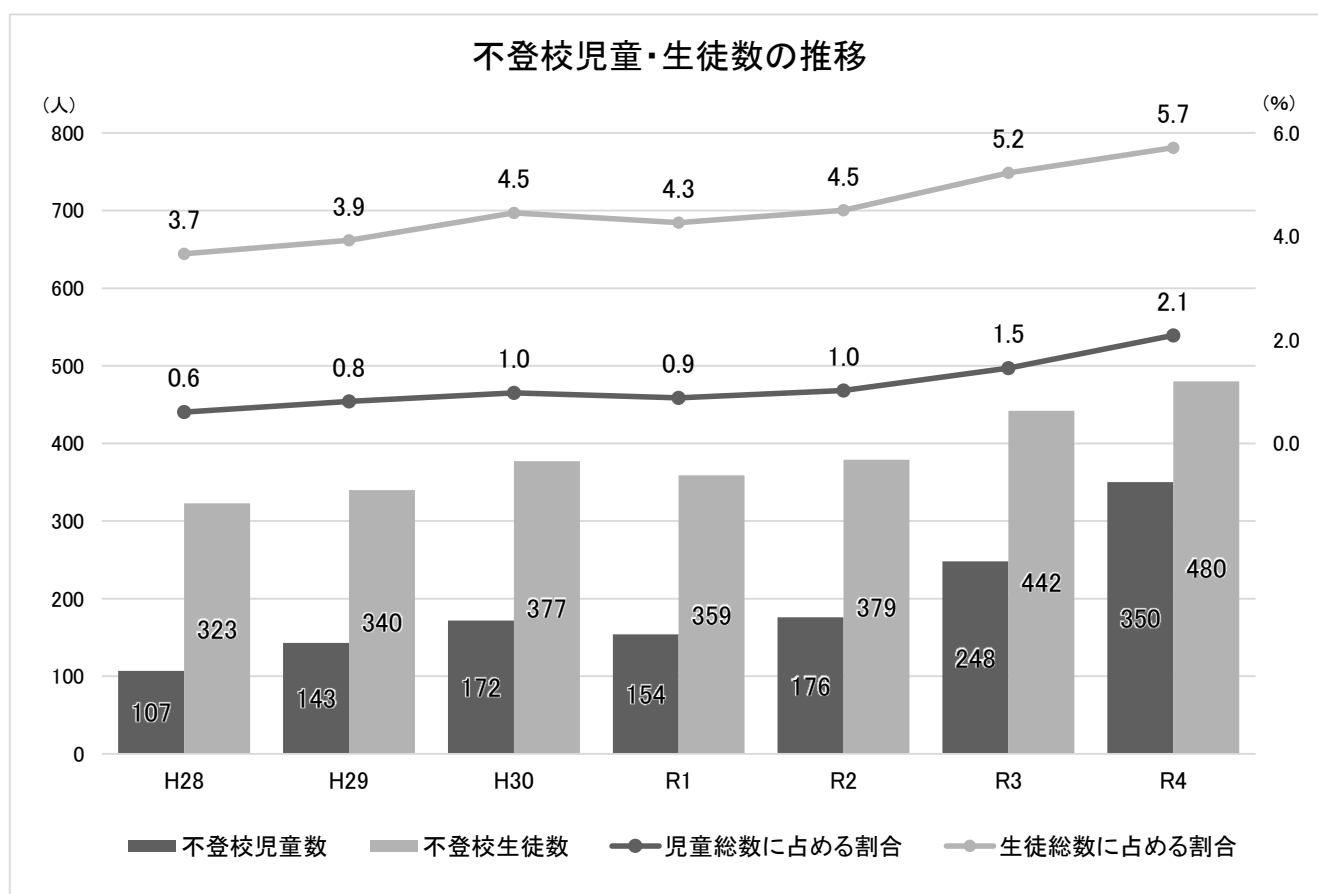


虐待の認知件数は年々増加しています。
 高齢者虐待及び児童虐待は増加傾向にありますが、障がい者虐待は令和2年以降減少しています。

10_不登校者数

		小学生			中学生		
		児童数	不登校児童数	児童総数に占める割合	生徒数	不登校生徒数	生徒総数に占める割合
2016	H28	17,682	107	0.6	8,815	323	3.7
2017	H29	17,629	143	0.8	8,666	340	3.9
2018	H30	17,565	172	1.0	8,468	377	4.5
2019	R1	17,445	154	0.9	8,410	359	4.3
2020	R2	17,223	176	1.0	8,416	379	4.5
2021	R3	17,017	248	1.5	8,451	442	5.2
2022	R4	16,768	350	2.1	8,400	480	5.7

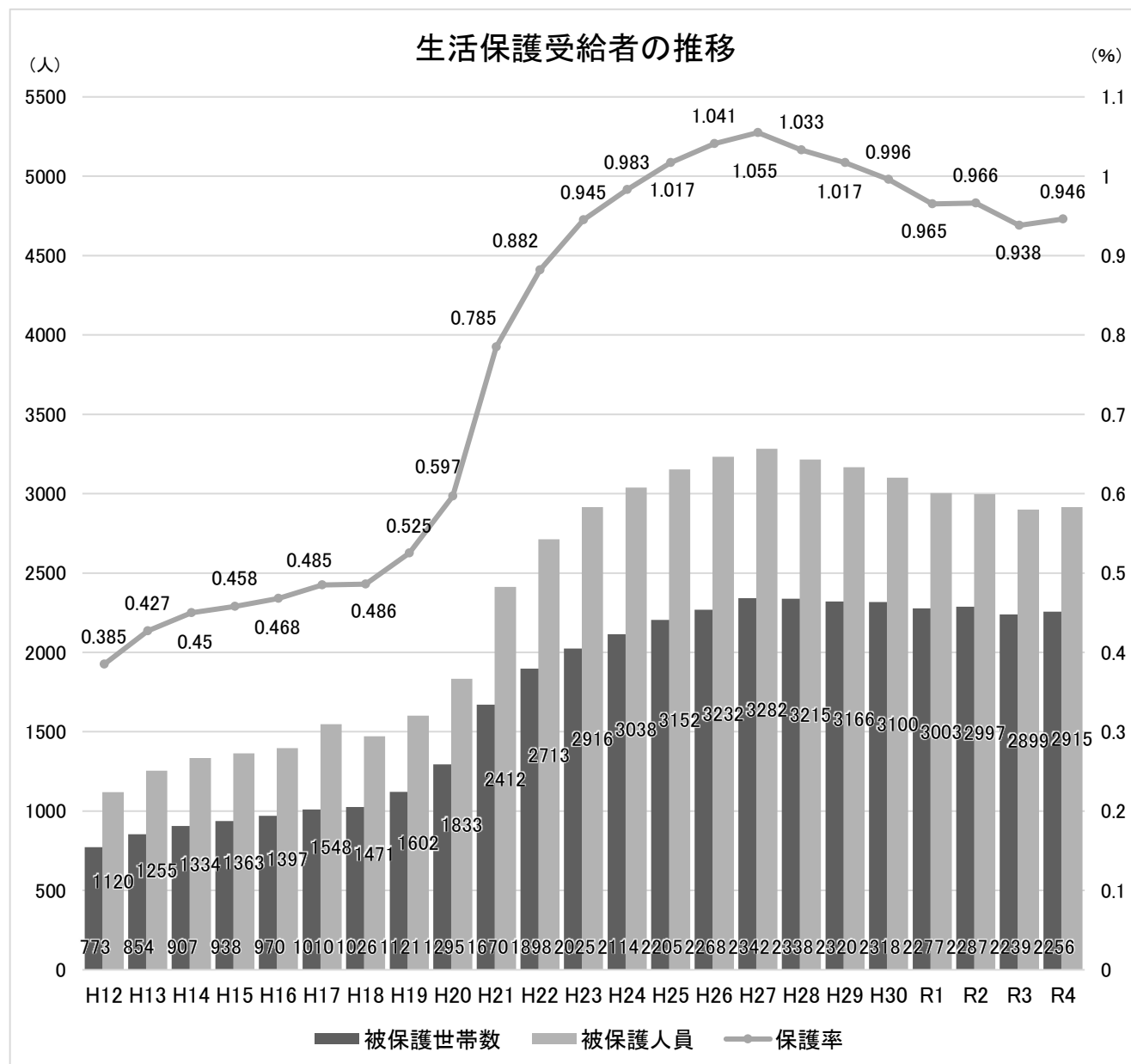
※不登校は30日以上の不登校を指す



不登校者数は小学生、中学生ともに令和元年に減少した以外は増加傾向にあり、総数に占める割合も同様に推移しています。また、全体を通して、中学生の割合が小学生の割合を大きく上回っています。

11_生活保護受給者数

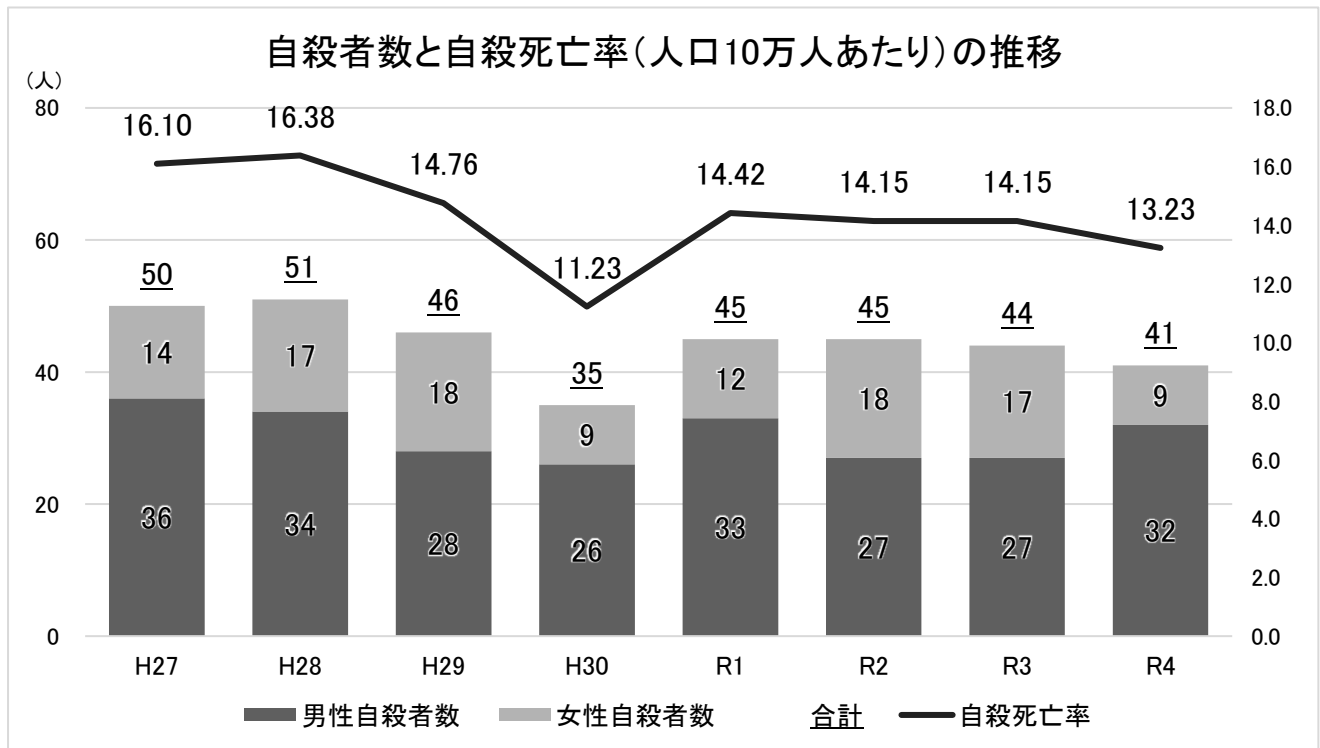
		被保護世帯数	被保護人員	保護率
2019	R1	2,277	3,003	0.965
2020	R2	2,287	2,997	0.966
2021	R3	2,239	2,899	0.938
2022	R4	2,256	2,915	0.946



被保護世帯数、被保護人員及び保護率は、平成20年前後から急激に増加を続けており、平成27年をピークに減少傾向にあります。直近の令和元年から令和4年までほぼ横ばいに推移しています。

12_自殺者数

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
男性自殺者数	36	34	28	26	33	27	27	32
女性自殺者数	14	17	18	9	12	18	17	9
合計	50	51	46	35	45	45	44	41
自殺死亡率	16.10	16.38	14.76	11.23	14.42	14.15	14.15	13.23



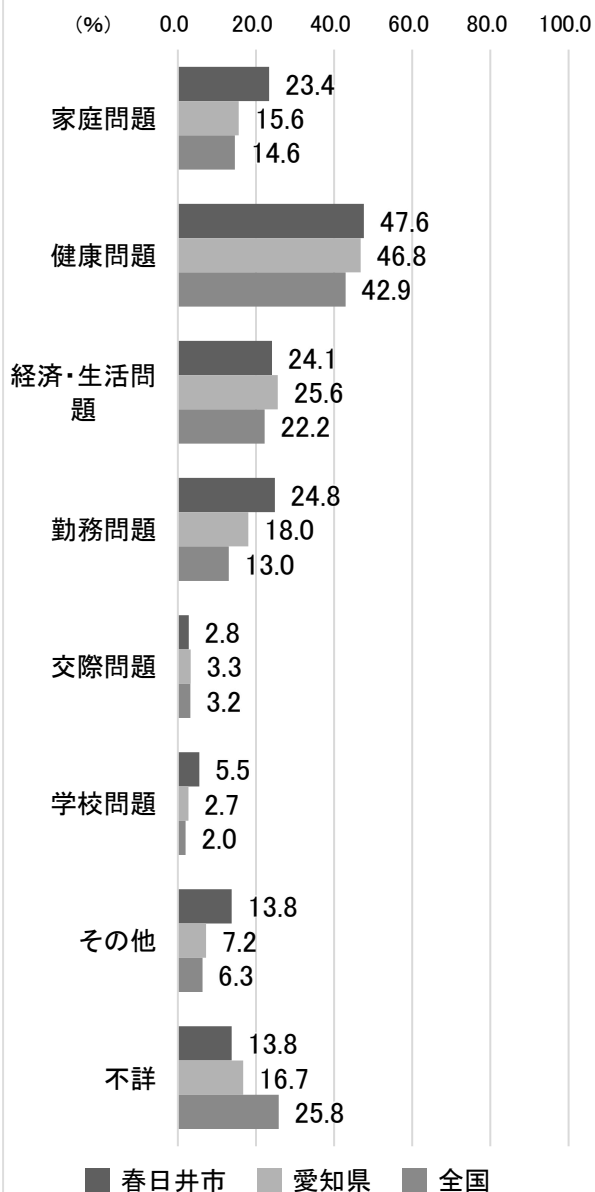
自殺者数及び自殺死亡率は平成30年に一度落ち込みましたが、令和元年以降はほぼ横ばいに推移しています。自殺者の性別を比較すると、全ての年において、男性が女性を上回っている状況にあります。原因を見ると、男性・女性ともに健康問題の割合が最も高く、市内の女性では自殺者の80%が健康問題によるものであるとされています。

12_自殺者数

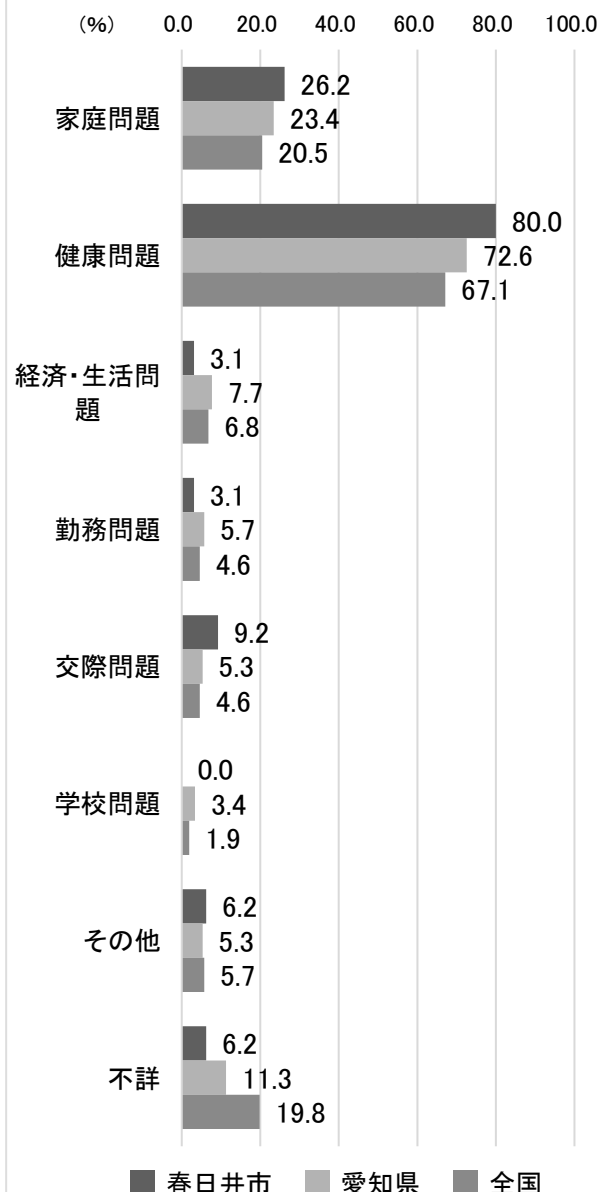
男性	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	不詳
春日井市	23.4	47.6	24.1	24.8	2.8	5.5	13.8	13.8
愛知県	15.6	46.8	25.6	18.0	3.3	2.7	7.2	16.7
全国	14.6	42.9	22.2	13.0	3.2	2.0	6.3	25.8

女性	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	不詳
春日井市	26.2	80.0	3.1	3.1	9.2	0.0	6.2	6.2
愛知県	23.4	72.6	7.7	5.7	5.3	3.4	5.3	11.3
全国	20.5	67.1	6.8	4.6	4.6	1.9	5.7	19.8

男性自殺者の原因と動機
(全国・愛知県との比較)



女性自殺者の原因と動機
(全国・愛知県との比較)



13_健康状態不明者数

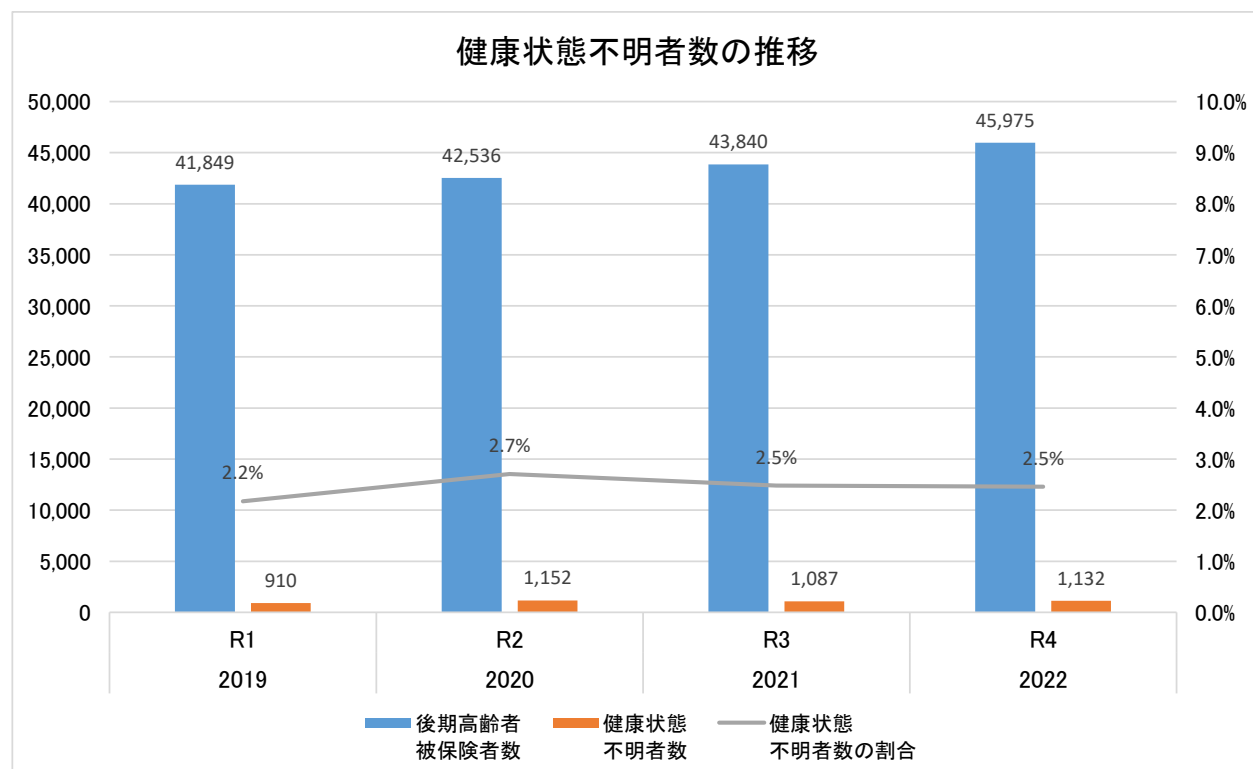
後期高齢者 被保険者数		年齢								合計
		65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99	100-	
2019	R1	630	925	18,182	11,969	6,543	2,744	740	116	41,849
2020	R2	560	956	17,275	12,809	7,073	2,921	825	117	42,536
2021	R3	533	962	16,894	13,806	7,565	3,100	847	133	43,840
2022	R4	496	865	17,799	14,394	8,088	3,281	911	141	45,975

※健康状態不明者とは、当該年度間に「健診なし・医療未受診・要介護認定なし」の者をさす。

※該当者は、後期高齢者医療制度の対象者に限る。

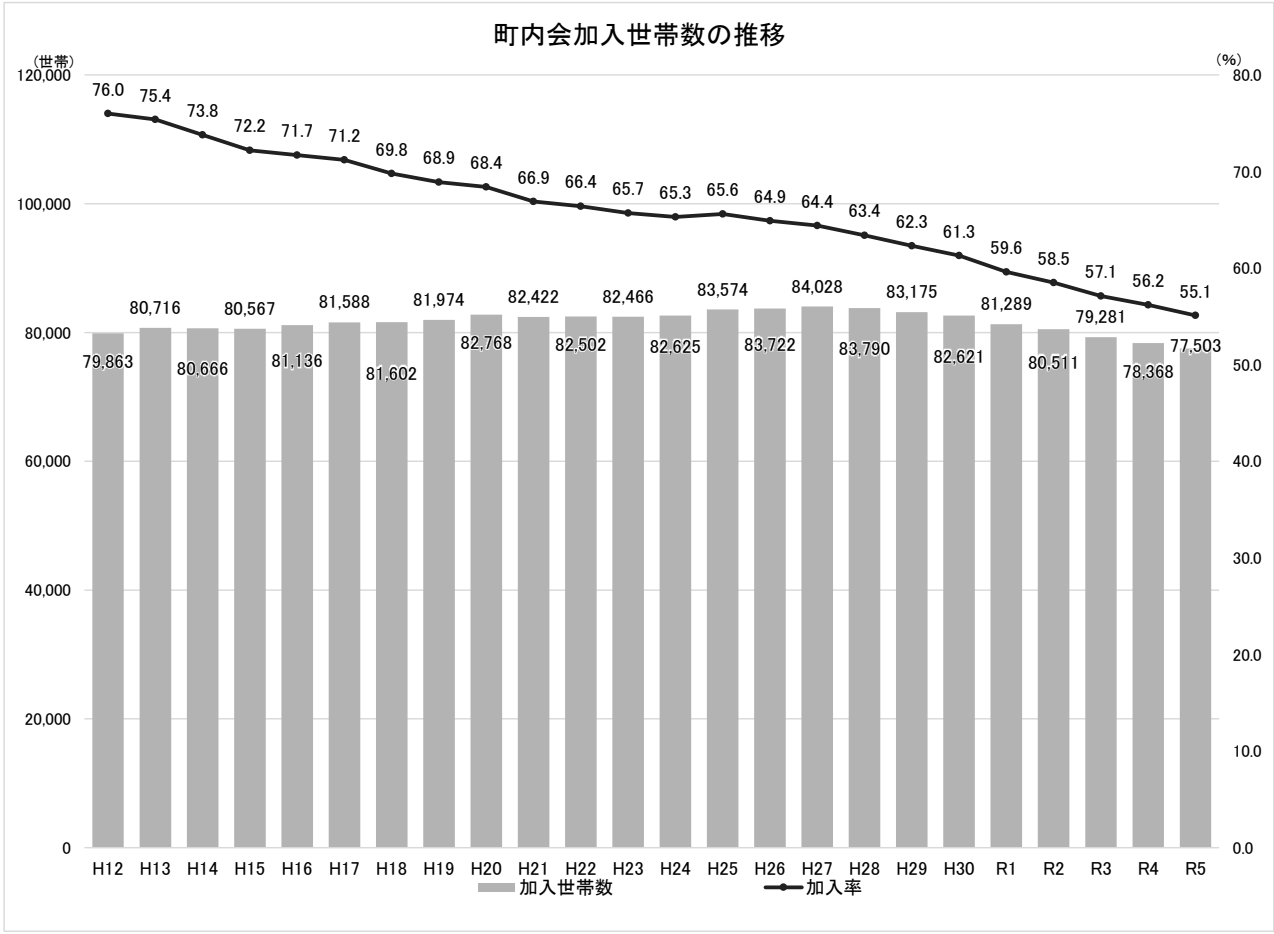
健康状態 不明者数		年齢								合計
		65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99	100-	
2019	R1	6	8	519	242	96	31	6	2	910
2020	R2	3	4	625	333	142	37	6	2	1,152
2021	R3	5	2	593	304	133	35	12	3	1,087
2022	R4	8	4	607	307	158	40	4	4	1,132

健康状態 不明者数の割合		年齢								合計
		65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99	100-	
2019	R1	1.0%	0.9%	2.9%	2.0%	1.5%	1.1%	0.8%	1.7%	2.2%
2020	R2	0.5%	0.4%	3.6%	2.6%	2.0%	1.3%	0.7%	1.7%	2.7%
2021	R3	0.9%	0.2%	3.5%	2.2%	1.8%	1.1%	1.4%	2.3%	2.5%
2022	R4	1.6%	0.5%	3.4%	2.1%	2.0%	1.2%	0.4%	2.8%	2.5%
平均		1.0%	0.5%	3.3%	2.2%	1.8%	1.2%	0.8%	2.1%	2.5%



健康状態不明者数は、横ばいに推移しています。後期高齢者被保険者数と比較しても、75歳～79歳及び80歳～84歳の年代は周りの年代に比べて高く推移しています。後期高齢者数及び健康状態不明者の割合とも75歳～79歳及び80歳～84歳の年代が多くなっており、相関関係が見られます。

14_町内会加入世帯数の推移

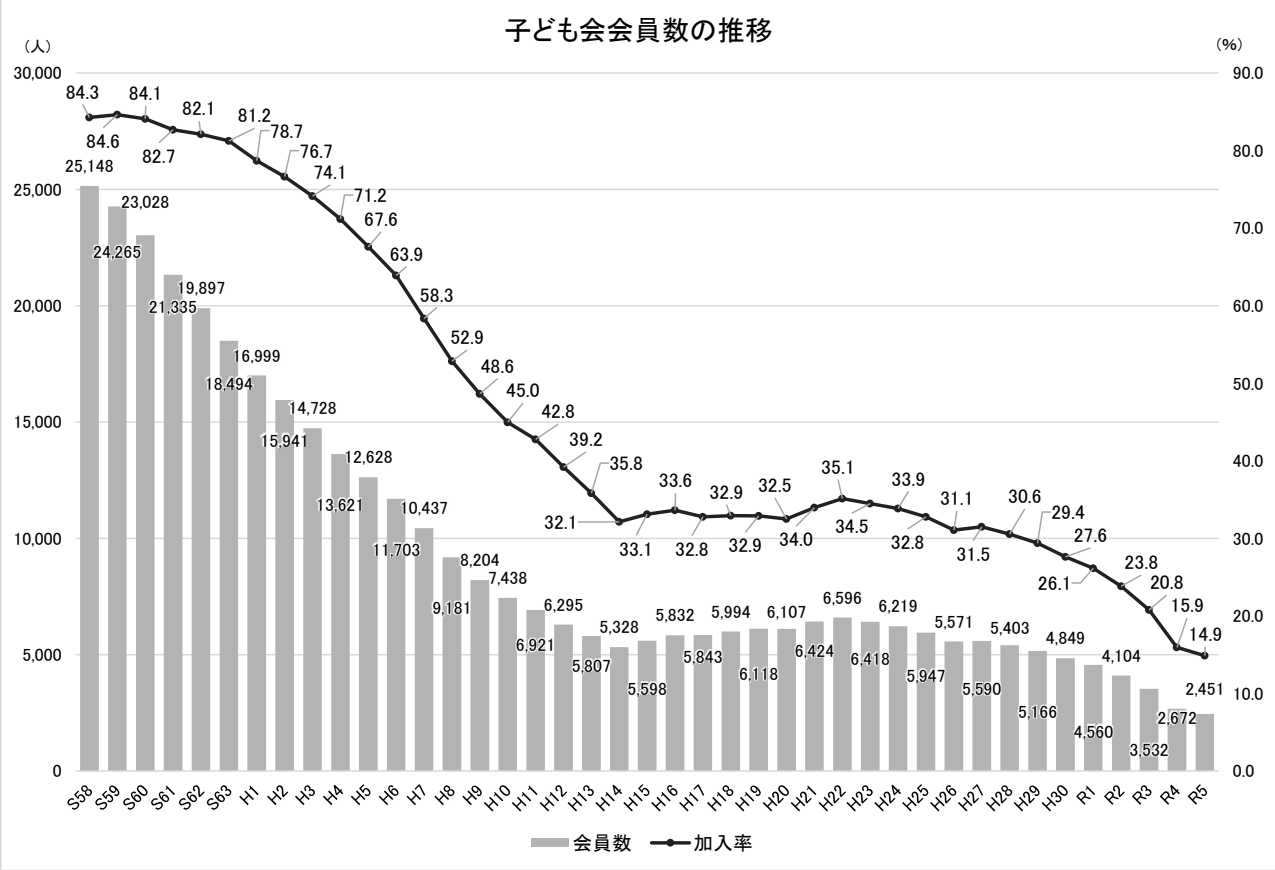


	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
加入世帯数	79,863	80,716	80,666	80,567	81,136	81,588	81,602	81,974	82,768	82,422	82,502	82,466	82,625	83,574	83,722
加入率	76.0	75.4	73.8	72.2	71.7	71.2	69.8	68.9	68.4	66.9	66.4	65.7	65.3	65.6	64.9

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
加入世帯数	84,028	83,790	83,175	82,621	81,289	80,511	79,281	78,368	77,503
加入率	64.4	63.4	62.3	61.3	59.6	58.5	57.1	56.2	55.1

町内会加入世帯数は平成27年以降減少しているのに対して、加入率は平成12年から減少を続けています。加入率は平成12年から令和5年までに約21ポイント減少しています。

15_子ども会会員数



※会員数は補助金を交付した子ども会の会員を指す。
※加入率は会員数を児童数（小1～小6※5月1日時点）で除した比率を指す。

	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997
	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9
会員数	25,148	24,265	23,028	21,335	19,897	18,494	16,999	15,941	14,728	13,621	12,628	11,703	10,437	9,181	8,204
加入率	84.3	84.6	84.1	82.7	82.1	81.2	78.7	76.7	74.1	71.2	67.6	63.9	58.3	52.9	48.6

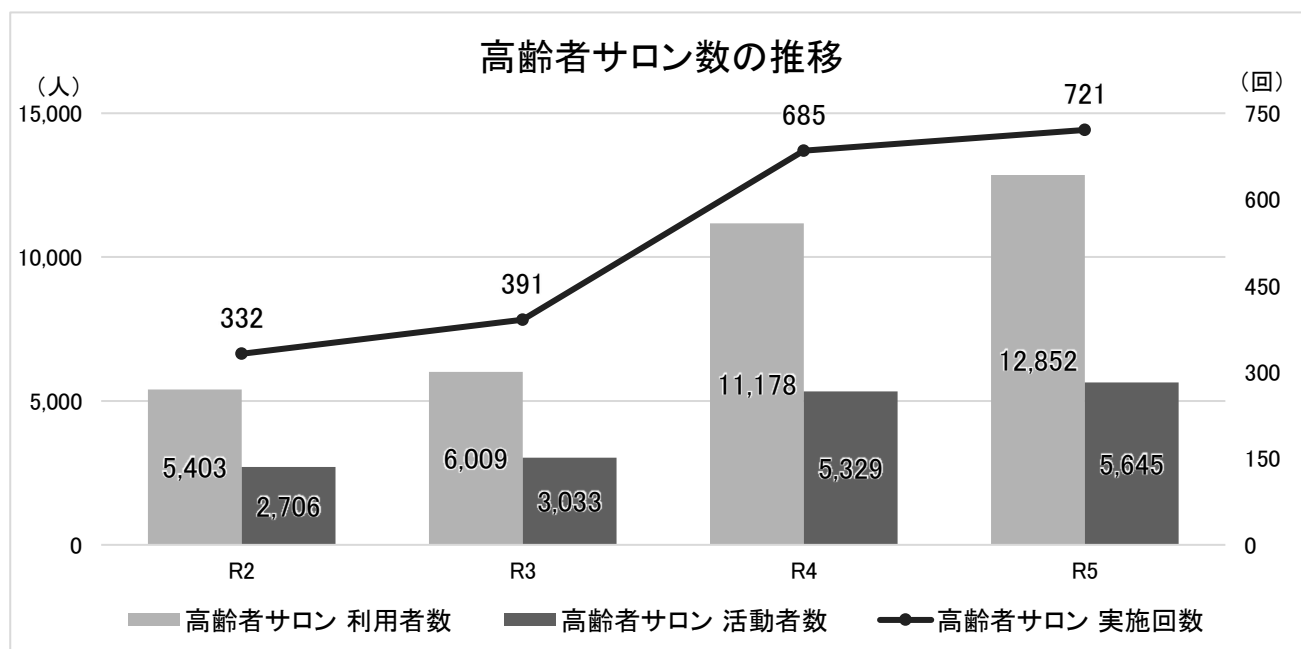
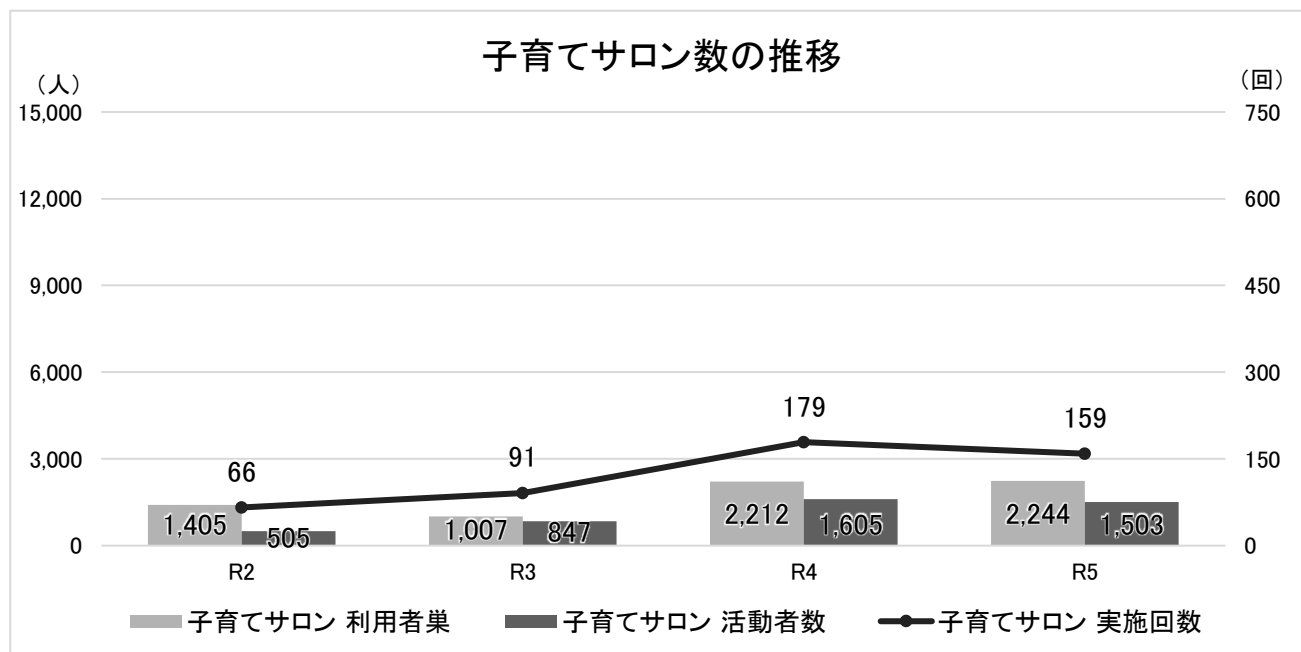
	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
会員数	7,438	6,921	6,295	5,807	5,328	5,598	5,832	5,843	5,994	6,118	6,107	6,424	6,596	6,418	6,219
加入率	45.0	42.8	39.2	35.8	32.1	33.1	33.6	32.8	32.9	32.9	32.5	34.0	35.1	34.5	33.9

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
会員数	5,947	5,571	5,590	5,403	5,166	4,849	4,560	4,104	3,532	2,672	2,451
加入率	32.8	31.1	31.5	30.6	29.4	27.6	26.1	23.8	20.8	15.9	14.9

子ども会の加入率は、平成13年まで減少後、一時、平成21年にかけて緩やかな回復傾向でしたが、その後は、減少を続けています。令和5年の加入率は、14.9%で昭和58年と比べて約70ポイント減少しています。

16_子育てサロン・高齢者サロン数

		子育てサロン			高齢者サロン		
		実施回数	利用者数	活動者数	実施回数	利用者数	活動者数
2020	R2	66	1,405	505	332	5,403	2,706
2021	R3	91	1,007	847	391	6,009	3,033
2022	R4	179	2,212	1,605	685	11,178	5,329
2023	R5	159	2,244	1,503	721	12,852	5,645

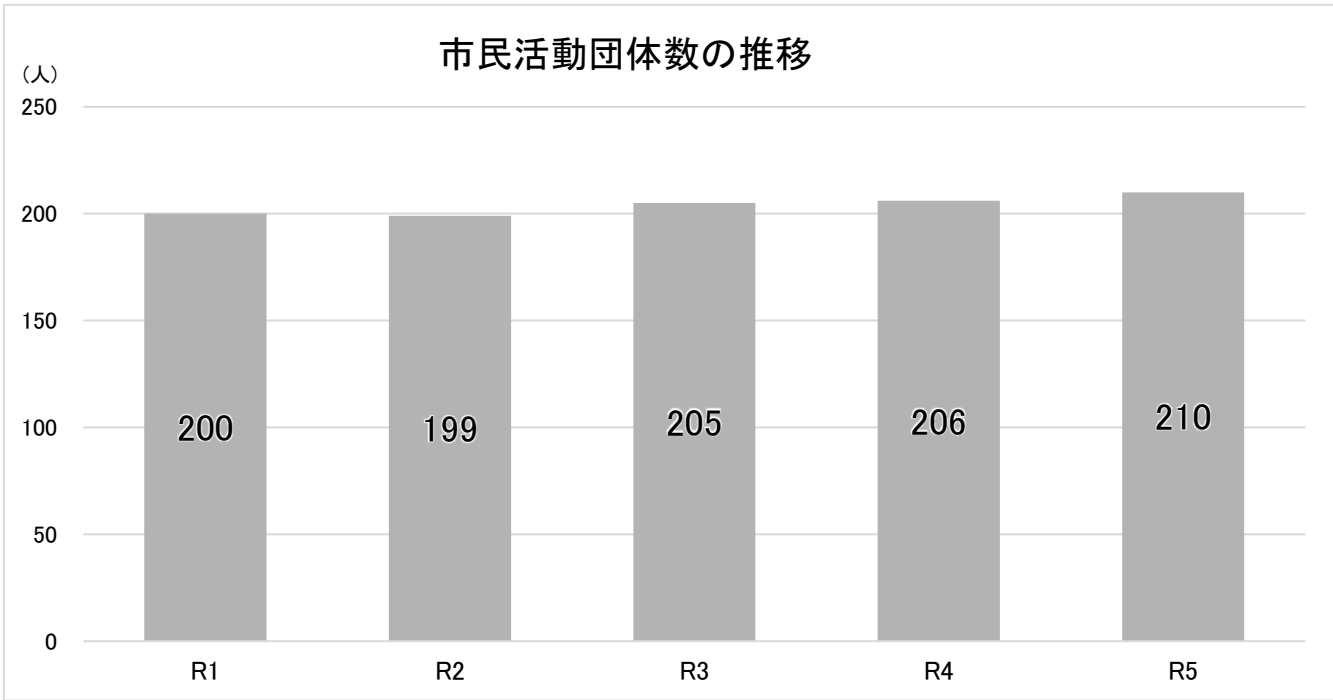
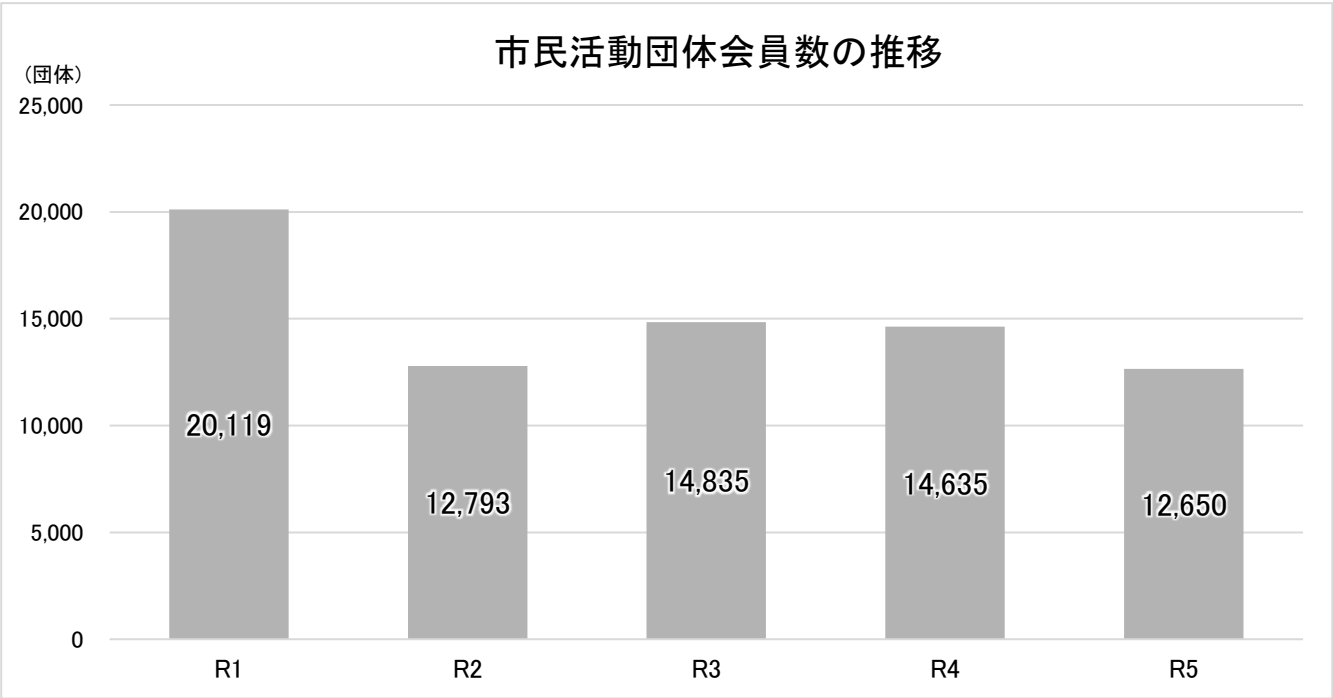


子育てサロン及び高齢者サロンは令和4年に前年度と比較して、実施回数・利用者数・活動者数の全てにおいて大幅に増加しています。特に高齢者サロンについては、子育てサロンよりも、実施回数・利用者数・活動者数すべての件数を上回っており、令和2年以降年々増加を続けています。

17_ 市民活動団体数

	2019	2020	2021	2022	2023
	R1	R2	R3	R4	R5
会員数	20,119	12,793	14,835	14,635	12,650
登録団体数	200	199	205	206	210

※春日井市市民活動支援センターに登録された団体・その会員数



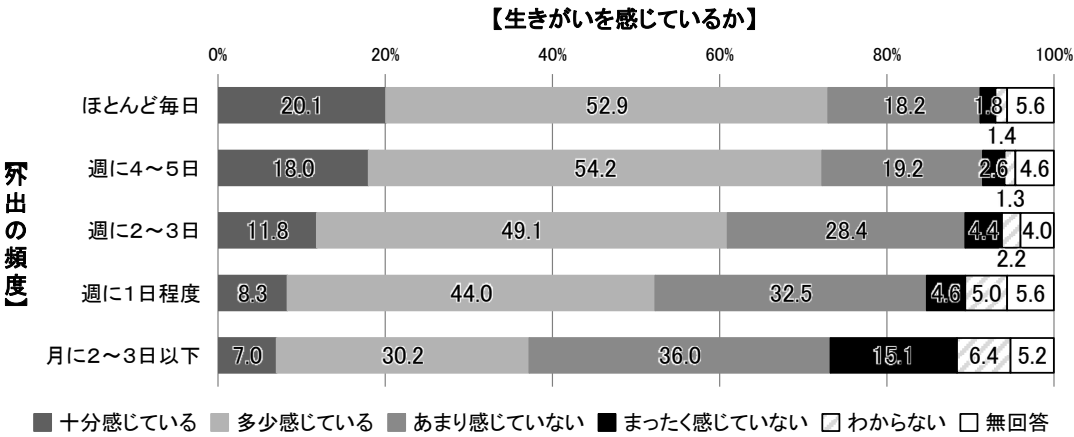
春日井市市民活動支援センターに登録された団体については、令和3年に一度増加しましたが、その後は減少を続けています。会員数については、令和2年以降、増加を続けている傾向にあります。

18_移動支援の必要性

どの程度生きがいを感じているか(外出の頻度別)

外出の頻度	生きがいを感じているか					
	十分感じている	多少感じている	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	無回答
ほとんど毎日	20.1	52.9	18.2	1.8	1.4	5.6
週に4～5日	18.0	54.2	19.2	2.6	1.3	4.6
週に2～3日	11.8	49.1	28.4	4.4	2.2	4.0
週に1日程度	8.3	44.0	32.5	4.6	5.0	5.6
月に2～3日以下	7.0	30.2	36.0	15.1	6.4	5.2

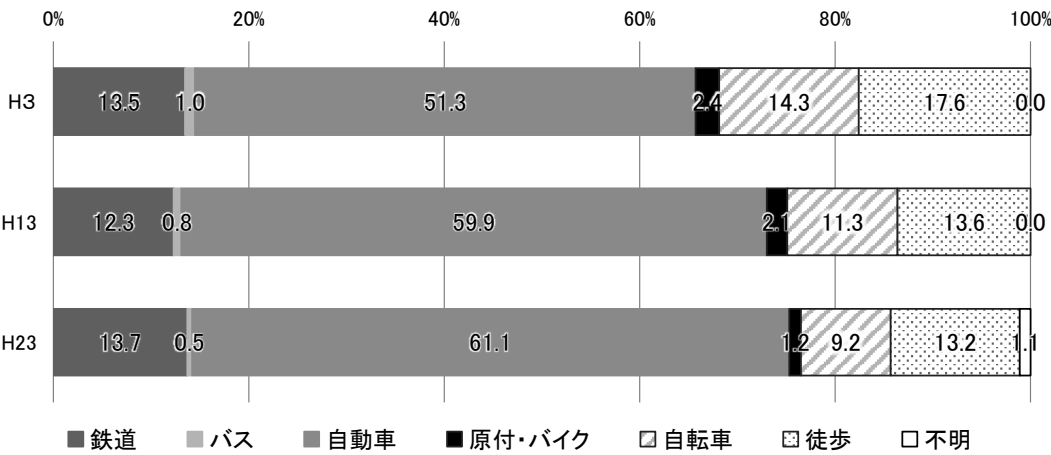
※内閣府「平成26年度高齢者の日常生活に関する意識調査」を基に国土交通省作成

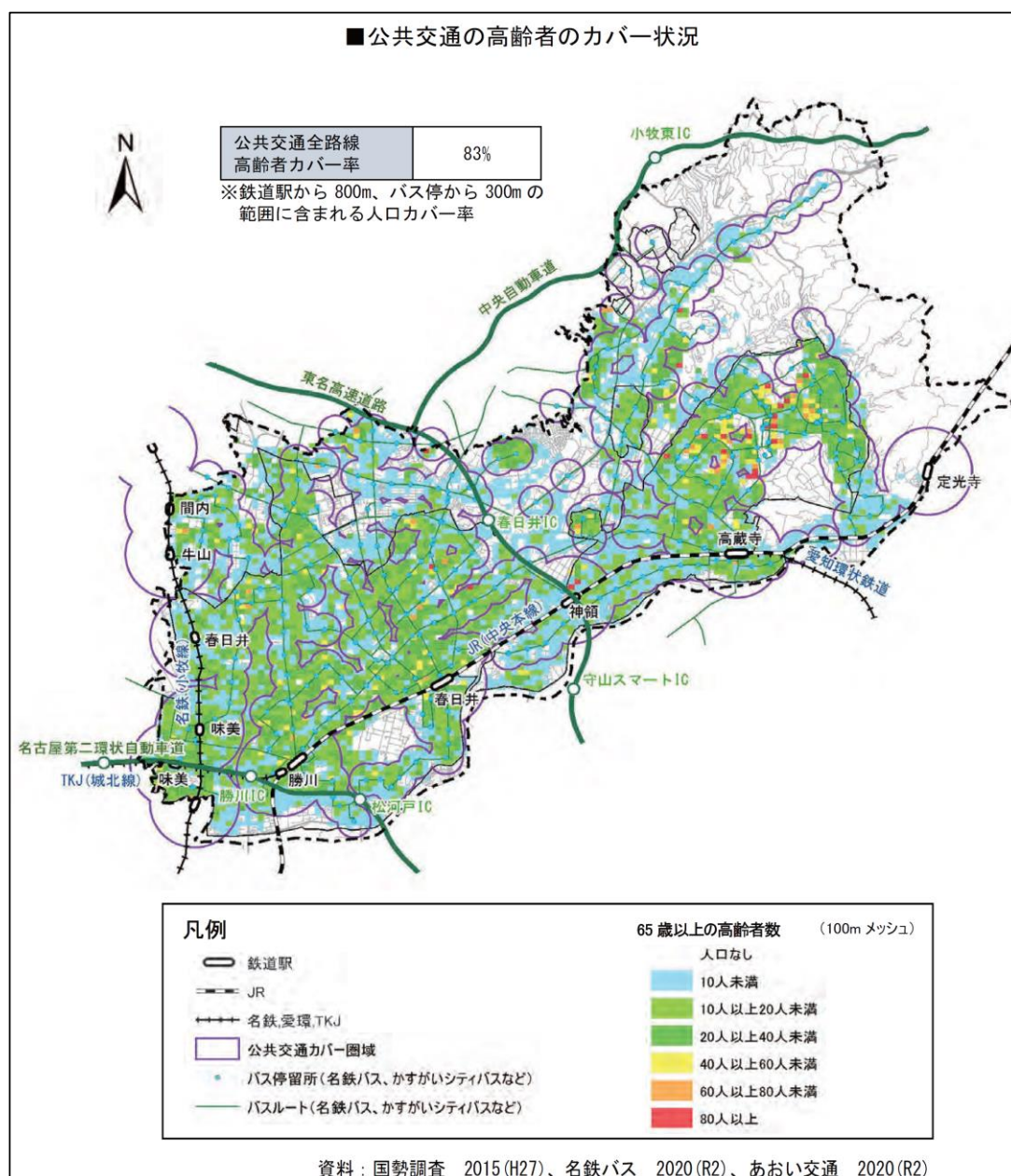


春日井市の代表交通手段別分担率の推移

	鉄道	バス	自動車	原付・バイク	自転車	徒歩	不明
H3	13.5	1.0	51.3	2.4	14.3	17.6	0.0
H13	12.3	0.8	59.9	2.1	11.3	13.6	0.0
H23	13.7	0.5	61.1	1.2	9.2	13.2	1.1

※中京都市圏パーソントリップ調査





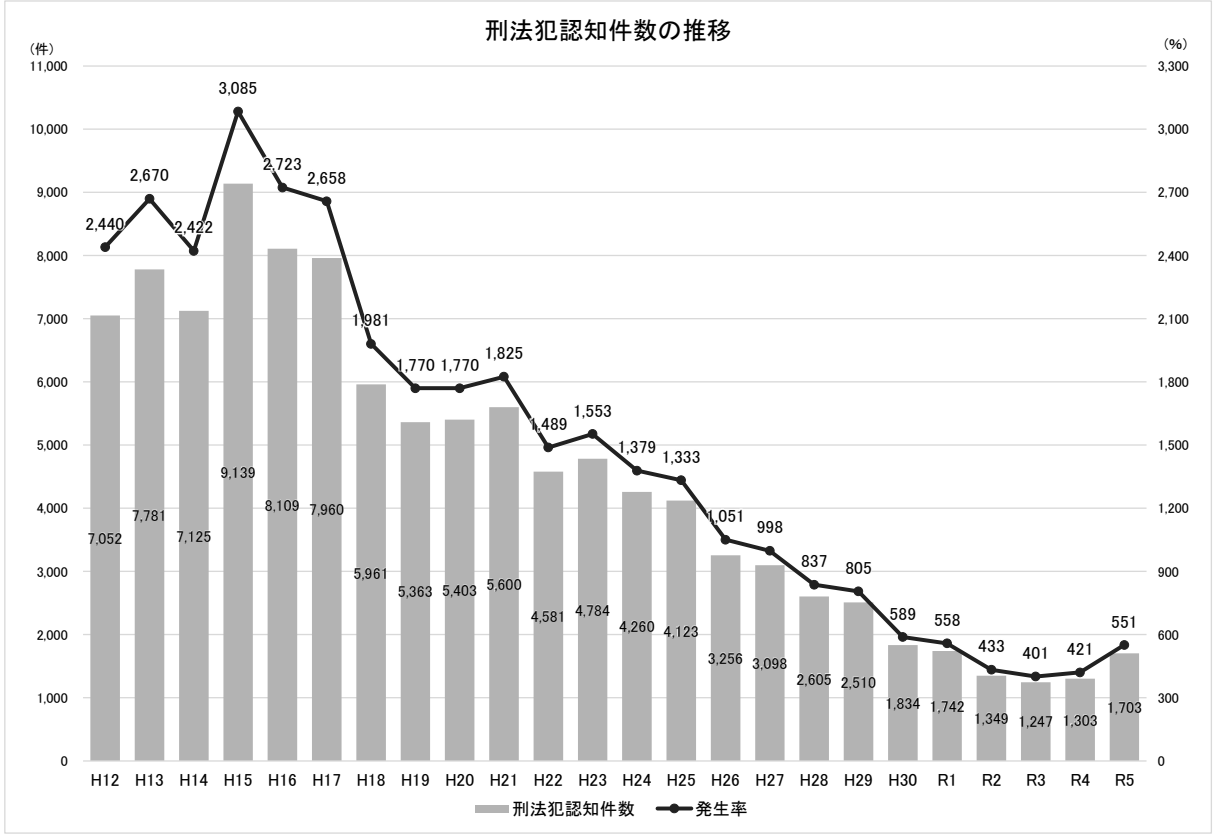
国や市が重点を置くべきと感じる施策(上位5位)

今回調査						
	一般高齢者 (n=845)		要支援・要介護者 (n=863)		事業所 (n=316)	
1	移動支援サービスの充実	31.5	移動支援サービスの充実	34.9	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり	38.3
2	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり	30.4	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり	31.2	移動支援サービスの充実	34.8
3	在宅医療の充実	28.4	家族介護者への支援の充実	29.3	家族介護者への支援の充実	24.4
4	在宅介護サービスの充実	23.1	在宅医療の充実	27.7	在宅医療の充実	23.4
5	家族介護者への支援の充実	21.2	入所施設の整備	22.4	判断能力に支障がある高齢者	21.8

※春日井市高齢者の暮らしと介護に関する実態調査報告書

高齢者の求める行政サービスとしては移動支援の需要が高く、外出頻度と生きがいを感じているかの調査結果では、外出の頻度が高くなるにつれて、生きがいを感じている傾向にありました。公共交通全路線高齢者カバー率は83%となっている状況にありますが、春日井市民の移動手段を比較すると、自動車・自転車・徒歩などの自力での移動をしている人が約80%を占めており、公共交通機関の利用は20%を下回る結果となっています。

19_ 刑法犯認知件数



※刑法犯認知件数は暦年(1～12月)集計
※発生率とは人口10万人当たりの認知件数をいう。

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
刑法犯認知件数	7,052	7,781	7,125	9,139	8,109	7,960	5,961	5,363	5,403	5,600	4,581	4,784	4,260	4,123	3,256
市内人口	288,980	291,474	294,170	296,287	297,775	299,494	300,924	303,000	305,239	306,929	307,746	308,045	308,924	309,272	309,854
発生率	2,440	2,670	2,422	3,085	2,723	2,658	1,981	1,770	1,770	1,825	1,489	1,553	1,379	1,333	1,051

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
刑法犯認知件数	3,098	2,605	2,510	1,834	1,742	1,349	1,247	1,303	1,703
市内人口	310,495	311,327	311,708	311,608	312,007	311,338	310,991	309,788	308,937
発生率	998	837	805	589	558	433	401	421	551

令和5年の刑法犯認知件数及び発生率は、令和4年に比べて増加していますが、平成15年をピークに全体としては大幅に減少しています。

20 犯罪検挙人数及び再犯率

	罪種別 検挙人数	総数	うち) 再犯者	再犯率	犯行時の年齢別					
					20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～
H30	刑法犯総数	372	184	49.5	78	60	58	61	20	95
	うち)凶悪犯	9	5	55.6	4	1	0	2	0	2
	うち)粗暴犯	102	50	49.0	22	26	22	18	1	13
	うち)窃盗犯	176	92	52.3	33	16	20	30	14	63
	うち)知能犯	14	8	57.1	4	4	5	0	0	1
	うち)風俗犯	8	1	12.5	1	1	2	2	0	2
	覚醒剤取締法	27	24	88.9	5	5	9	7	1	0
	麻薬等取締法	1	0	0.0	1	0	0	0	0	0
	大麻取締法	4	2	50.0	1	1	0	1	0	1
R1	刑法犯総数	315	140	44.4	67	46	61	40	17	84
	うち)凶悪犯	9	4	44.4	5	1	1	0	0	2
	うち)粗暴犯	71	30	42.3	11	16	19	9	3	13
	うち)窃盗犯	155	65	41.9	29	9	26	22	11	58
	うち)知能犯	17	11	64.7	4	5	5	1	1	1
	うち)風俗犯	9	5	55.6	3	2	3	0	0	1
	覚醒剤取締法	13	10	76.9	4	1	8	0	0	0
	麻薬等取締法	1	1	100.0	1	0	0	0	0	0
	大麻取締法	7	1	14.3	5	1	1	0	0	0
R2	刑法犯総数	321	158	49.2	57	48	66	52	10	88
	うち)凶悪犯	12	6	50.0	4	5	0	2	0	1
	うち)粗暴犯	65	35	53.8	8	14	22	8	0	13
	うち)窃盗犯	163	75	46.0	24	15	27	28	7	62
	うち)知能犯	19	11	57.9	6	4	3	3	1	2
	うち)風俗犯	9	1	11.1	1	1	2	4	1	0
	覚醒剤取締法	22	18	81.8	2	8	5	3	2	2
	麻薬等取締法	0	0		0	0	0	0	0	0
	大麻取締法	15	9	60.0	9	6	0	0	0	0
R3	刑法犯総数	368	174	47.3	82	40	67	61	14	104
	うち)凶悪犯	9	6	66.7	6	2	0	0	0	1
	うち)粗暴犯	92	36	39.1	14	14	22	20	3	19
	うち)窃盗犯	174	93	53.4	31	12	32	27	6	66
	うち)知能犯	30	17	56.7	17	4	4	3	0	2
	うち)風俗犯	16	7	43.8	2	0	4	4	3	3
	覚醒剤取締法	27	22	81.5	5	3	6	9	3	1
	麻薬等取締法	0	0		0	0	0	0	0	0
	大麻取締法	10	4	40.0	8	1	1	0	0	0
R4	刑法犯総数	283	148	52.3	46	35	52	48	14	88
	うち)凶悪犯	3	3	100.0	0	1	2	0	0	0
	うち)粗暴犯	72	37	51.4	10	14	18	16	5	9
	うち)窃盗犯	141	72	51.1	19	9	18	22	7	66
	うち)知能犯	21	14	66.7	6	6	4	2	1	2
	うち)風俗犯	8	4	50.0	3	0	0	2	0	3
	覚醒剤取締法	14	13	92.9	2	6	5	1	0	0
	麻薬等取締法	1	1	100.0	0	1	0	0	0	0
	大麻取締法	8	6	75.0	5	2	1	0	0	0

※警察庁とりまとめ「犯罪統計書」記載の検挙人数より(少年データを除く)。

犯罪検挙人数はばらつきがありますが、再犯率は横ばいで推移しています。
また、覚醒剤取締法及び麻薬等取締法については、他の犯罪よりも再犯率が高い状況にあります。